

2025年6月23日
サンデン株式会社

サンデンフォレストの生物多様性保全活動 環境省「モニタリングサイト 1000」報告書概要版パンフレットに掲載

当社の事業所「サンデンフォレスト」(群馬県前橋市)における生態系モニタリングの取り組みが、環境省「モニタリングサイト1000(正式名称:重要生態系監視地域モニタリング推進事業) 第4期とりまとめ報告書概要版パンフレット」に掲載されました。紙面では、総務本部 施設管理セクション ECOSの担当者が、サンデンフォレストでのモニタリング結果を踏まえ、実施した生物多様性保全活動についてコメントしています。

当社では、自然環境状態の把握と評価のために、長年にわたり継続して自主調査を実施しており、「モニタリングサイト1000里地調査」の一般サイト(調査地)として、調査結果の一部を日本全体の長期的な生態系変化観測データとして提供しています。



● モニタリングサイト1000とは

サンデンフォレストは、2018年より環境省のモニタリングサイト1000の調査に参加しています。

モニタリングサイト1000は、環境省生物多様性センターが2003年度に開始したもので、日本を代表するさまざまなタイプの生態系(森林、草原、里地里山、陸水域、藻場、干潟、砂浜、サンゴ礁、小島嶼等)に1,000か所の調査サイトを設置し、長期継続してモニタリングしていくという取り組みです。

モニタリングで得られたデータを分析することにより、生物種の減少など、生態系の異変をいち早く捉え、迅速かつ適切な生物多様性保全施策につなげることを目的としています。

● サンデンフォレストでのモニタリング調査

センサーカメラを使用した中・大型哺乳類のモニタリング調査で、近年、外来種が多く撮影されるポイントが浮かび上がりました。これを受け、サンデンフォレストでは生物多様性の保全に向けた対策活動を強化しています。

モニタリングは、短期間で結果が出るものではなく、何十年という長期的な継続で初めて結果が見えるものです。こうした活動は、当社が推進するサステナビリティ経営や地域共生の柱の一つであり、現場の継続的な運用

体制によって支えられています。



センサーカメラ取り付けの様子



センサーカメラでのモニタリング調査

● サステナビリティ経営と「30by30目標」への貢献

サンデンフォレストは、2023年前期に環境省の自然共生サイト「30by30」に登録されました。

この30by30目標は、2030年までに地球の陸地および海洋の30%以上を保護・保全することを目指す国際的な取り組みであり、生態系の保護や気候変動対策に重要な役割を担っています。

今回の当社の取り組みは、生物多様性の保全と持続可能な土地利用を推進する30by30目標の達成に寄与するものです。

今後も長期的な自然保全活動を通じて、サステナビリティ経営と社会的責任の遂行に取り組んでまいります。

[参考リンク]

・環境省 モニタリングサイト1000 第4期報告書概要版パンフレット

<https://www.env.go.jp/content/000310222.pdf>

・環境省 モニタリングサイト1000

<https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html>

・環境省 30by30

<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/>

・サンデンフォレスト

<https://www.sandenforest.com/>

本件に対するお問い合わせ

サンデン株式会社 総務本部 グローバル総務セクション 広報・IR 担当

Tel : 03-5828-5582 Mail : sdhd.pcrsr.jp@g-sanden.com Web : <https://www.sanden.co.jp/>